



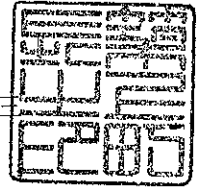
19 築建第041803号

平成19年5月7日

国土交通省 道路局長 殿

福岡県築上郡

築上町長 新川 久三



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

新緑の候、貴職には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴職におかれましては、日頃から町道路行政に対しご指導いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、貴職から平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

平成18年1月10日に旧椎田町と旧築城町が合併し、築上町が誕生しました。今回、築上町総合計画の策定にあたり、未来の築上町を支えていく子どものいのちを護り、育てていくことが大切であるという認識から、総合計画のタイトルを「築上町は子どもの生命を護ります」としました。

少子高齢化の進展により、今後は、高齢者の社会参加も増加し、また、地域が一丸となり子どもを護ることが大切です。このため、高齢者や子どもたちの交通弱者を始め、誰もが安全に、安心して活動ができるよう、地域景観に配慮した人優先の道路整備や道路・交通施設のバリアフリー化を進める必要があると思われまます。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

非常に厳しい財政状況の下、事業実施にあたっては、計画段階の早い時期から費用対効果の検討を行い、また、住民に情報を開示し、住民が真に必要とする事業を、計画的に短期間で実施すべきと思われまます。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

国は、1997年の京都議定書の内容である「地球温暖化ガスの6%削減」を踏まえ、昨年のバイオマスニッポン総合戦略で、2030年までに600万kℓの国内でのエタノール

生産を目標とする明確な方針を打ち出しました。築上町では、農業の活性化を出発点とし、複数の企業と合同で、本年度から、転作田で栽培した多収量米によるエタノールプラントの建設及び運営の計画をしています。現在、農業及び経済・流通の点から農林水産省、経済産業省の協力を得て、事業化に向けまい進していますが、車両、交通という点から、国土交通省におかれましても、よりいっそうのエタノール事業の推進とご協力をお願いします。

国道10号については、築上町をはさむ両隣の行橋市・豊前市域の四車線化が進んでいますが、築上町域は二車線のままであり、交通渋滞の解消のためにも一日も早い四車線化の実現を望んでいます。国土交通省におかれましても、何かと厳しい状況にあるとは存じますが、早期実現に向け、ご配慮を賜りますよう要望します。